

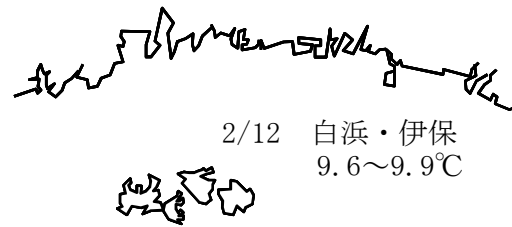
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 13号)

平成31年 2月15日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場では珪藻が増加しており、栄養塩が低い値となっています。沖合漁場においては、珪藻の発生量に大きな増減は見られませんが、窒素は概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台と減少傾向にあります。

(栄養塩、珪藻) 地先ではコシノディスカスが、海水1Lあたり100~200細胞、加えて小型珪藻のキートセロスが確認され(1mlあたり1000細胞)全般に珪藻の発生量が増加している。沖合ではコシノディスカスの発生量に大きな増減は見られないが、地先に面する漁場でキートセロスが少し確認され窒素は $1 \mu\text{g-at/L}$ 台であった。それ以外の沖合漁場では概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台の値を示しているが、栄養塩は前回(2/8)調査より漸減している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.6	1.4	1.5	3.6
	リン	0.33	0.26	0.20	0.29
家島・坊勢	窒素	2.8	2.1	1.9	3.3
	リン	0.35	0.33	0.34	0.46
		(2/6)		(2/14)	

栄養塩(窒素) 図

平成31年 2月15日調査

